

島根1号機主蒸気隔離弁の溶接継手の超音波探傷検査結果について

1. 経緯

平成22年7月21日、日本原子力発電(株)敦賀発電所1号機の原子炉再循環ポンプおよび弁本体の溶接継手で供用期間中検査計画の管理対象としていなかった溶接継手が確認された事案に対して、島根原子力発電所1, 2号機の供用期間中検査計画の調査を実施した。

調査の結果、以下の溶接継手について、供用期間中検査の検査対象としていなかったことを確認したため、当該継手について、現在の停止期間中に非破壊検査を実施し、健全性を確認することとしていましたが、内側主蒸気隔離弁の弁短管と配管の溶接継手(2継手×4台)および外側主蒸気隔離弁の弁短管と配管の溶接継手(1継手×4台)について、超音波探傷検査(以下「UT」という。)が完了したため、検査結果について報告します。

プラント	機器名称	溶接部位	備考
島根1号	原子炉再循環ポンプ (P01-1A, B)	ポンプケースとコアロージャ (2継手×2台)	H23.1 PT 実施予定
	内側主蒸気隔離弁 (AV02-1A~D)	弁短管と配管 (2継手×4台)	今回UT結果報告対象 (H22.10.26点検完了)
	外側主蒸気隔離弁 (AV02-2A~D)	弁短管と配管 (1継手×4台)	

2. 検査結果

島根1号機の主蒸気隔離弁(内側および外側)の弁短管と配管の溶接継手について、UTを実施し、異常のないことを確認した。

(1) 検査期間(添付1参照)

平成22年9月29日(水)~10月26日(火)

(2) 検査体制(添付2参照)

添付2の通り。

(3) 検査箇所(添付3参照)

主蒸気隔離弁(内側および外側)の弁短管と配管の溶接継手(12箇所)

(4) 検査結果(添付4参照)

異常なし

以上

島根1号機 主蒸気隔離弁溶接継手(12箇所)に対する健全性確認(UT)実績工程

項 目	9月																														10月																														
	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31											
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日																		
1. 発電所現場調査手続き (要領書, 安全対策作成等)	■																																																												
2. 主蒸気隔離弁溶接継手 (12箇所)																																																													
(1)保温取外し				■																																																									
(2)溶接線調査				■			■																																																						
(3)UT準備							■			■																																																			
(4)UT検査										■			■			■			■			■																																							
(5)UT記録作成													■			■			■			■			■			■																																	
3. 検査結果確認																															検査結果確認 ▽																														

島根原子力発電所 1 号機

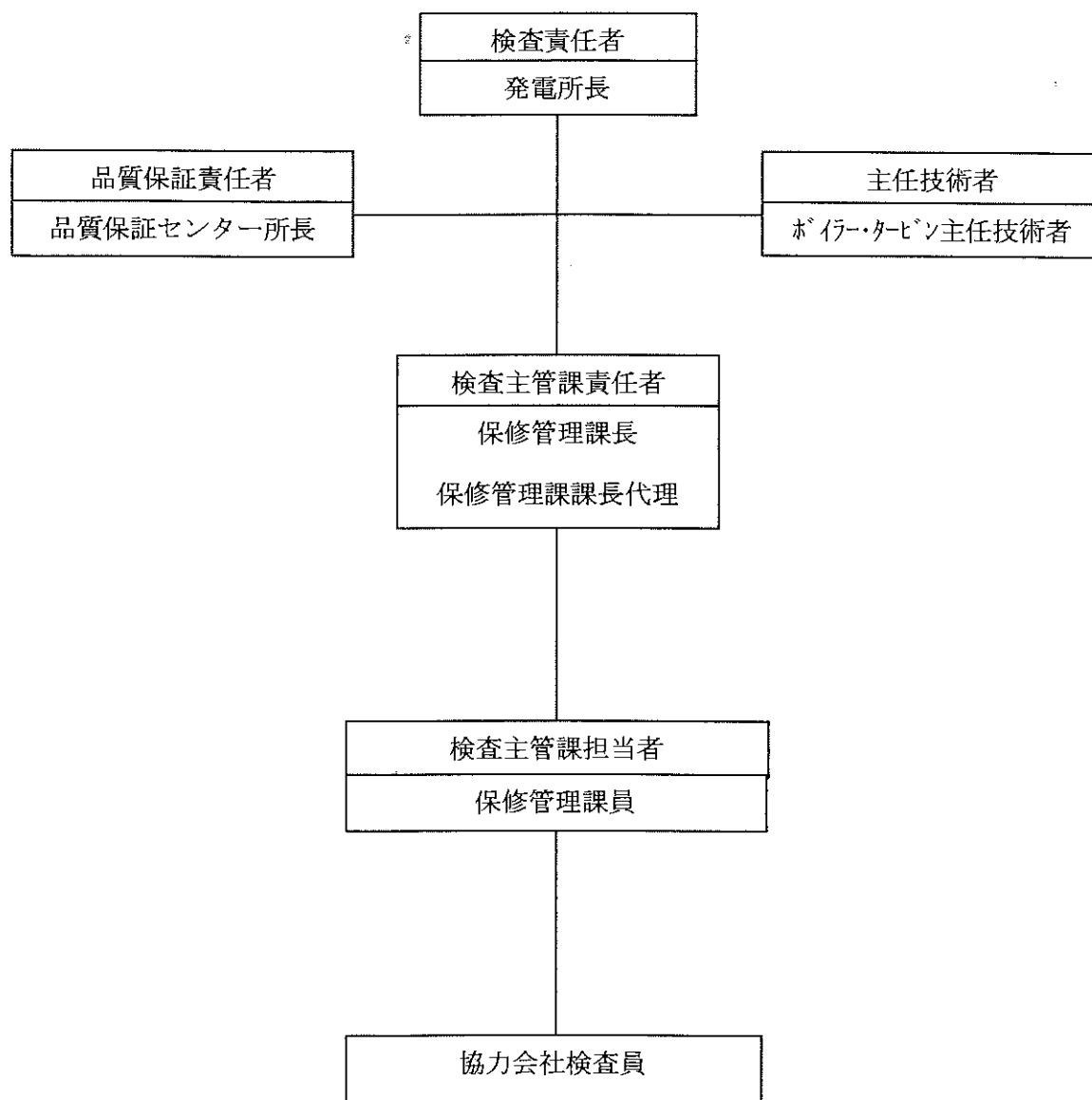
主蒸気系溶接継手 12 箇所検査体制表

検査項目 : 非破壊検査 (UT)

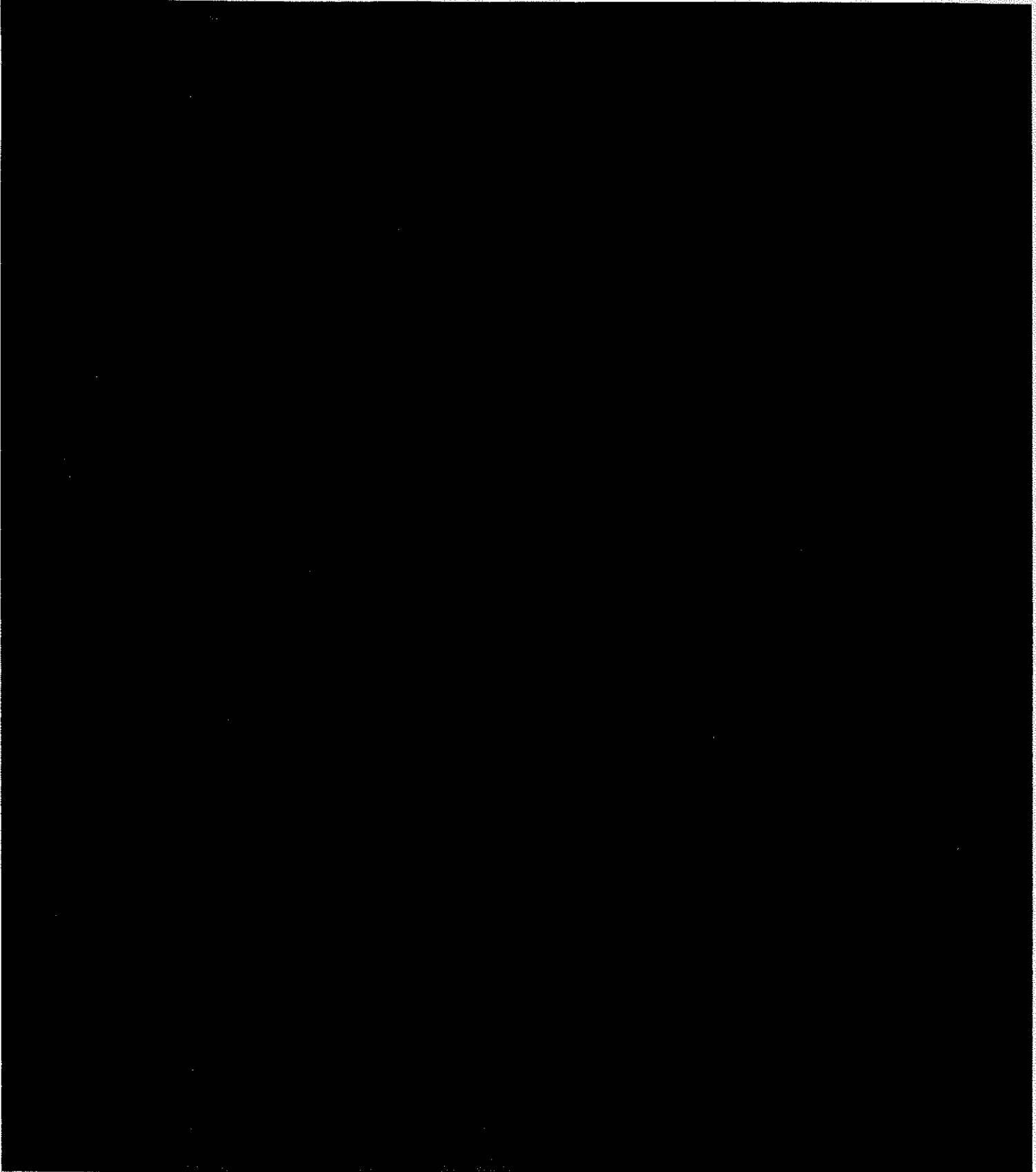
検査年月日 : 平成 22 年 9 月 29 日 ~ 10 月 26 日

検査対象箇所 : 主蒸気系 12 箇所

(W19-N, W20-N, W21-N, W38-N, W39-N, W40-N,
W57-N, W58-N, W59-N, W78-N, W79-N, W80-N)



主 蒸 気 系



溶接部超音波探傷試験成績表

SHEET No. UT-01 (1/25)

発電所名	中国電力株式会社 島根原子力発電所第1号機	探傷方法	試験年月日	キャリブレーション 記録 No.	探傷結果	試験員 (NDI資格)
系統名	主蒸気系	垂 直	2010年9月30日	UT-01(2/25)	記録すべきエコーなし	UT-01 (6/25), (7/25) 参照
継手番号	W19-N	斜角 45° (軸)	2010年9月 ³⁰ / ₁₀ 日	UT-01(3/25)	記録すべきエコーあり	
公称径板厚	上流側: φ406.4×21.4t 下流側:	斜角 45° (周)	2010年9月30日	UT-01(4/25)	記録すべきエコーなし	
溶接タイプ (品名)	A(上流側) B(下流側) パイプ パイプ(短管)	斜角 60° (軸) ※	2010年10月1日	UT-01(5/25)	記録すべきエコーあり	
材 質	STPT49 STPT49	溶接部超音波探傷 試験記録 No.	UT-01 (8/25)~(13/25)	走査・探傷不可能範囲: 有 UT-01(24/25), (25/25)参照 ※裏波部近傍の確認の為、斜角60°軸探傷(0.5スキップのみ)を追加実施した。		
試験時期	第29回定検前調査時	エコー分布図 No.	UT-01 (14/25)~(23/25)			
要領書No.	K-TY-1831					

使用計測器(管理番号) 鋼尺(5219K106)

特記事項

判定基準

- 1) 反射源からの反射波の高さがDAC20%以下であること。
- 2) 反射源からの反射波の高さがDAC20%を超える場合には、その反射源が有意な欠陥でないこと。ここで、有意な欠陥とは、供用期間中における欠陥の発生および進展によって生じた変化が認められる場合の欠陥を言い、NISA文書「き裂解釈」で言うき裂等と同義とする。

判 定 合 格

試験評価員 XXXXXXXXXX NDI資格 UT-3
 承 認 XXXXXXXXXX
 中国電力株 XXXXXXXXXX

2010年 10月 21日
 2010年 10月 25日
 2010年 10月 26日

溶接部超音波探傷試験成績表

SHEET No. UT-02(1/25)

発電所名	中国電力株式会社 島根原子力発電所第1号機		探傷方法	試験年月日	キャリアレシジョン 記録 No.	探傷結果	試験員(NDI資格)
系統名	主蒸気系		垂 直	2010年9月30日	UT-02(2/25)	記録すべきエコーなし	UT-02 (6/25), (7/25) 参照
継手番号	W20-N		斜角 45° (軸)	2010年9月30日 10月1,2	UT-02(3/25)	記録すべきエコーあり	
公称径板厚	上流側: φ406.4×21.4t 下流側:		斜角 45° (周)	2010年10月1日	UT-02(4/25)	記録すべきエコーなし	
溶接タイプ (品名)	A(上流側) パイプ(短管)	B(下流側) ヘネレシジョン	斜角 60° (軸) ※	2010年10月2日	UT-02(5/25)	記録すべきエコーあり	
材 質	STPT49	STPT49	溶接部超音波探傷 試験記録 No.	UT-02 (8/25)~(13/25)	走査・探傷不可能範囲: 有 UT-02(24/25), (25/25)参照 ※裏波部近傍の確認の為、斜角60° 軸探傷(0.5スキップのみ)を 追加実施した。		
試験時期	第29回定検前調査時		エコー分布図 No.	UT-02 (14/25)~(23/25)			
要領書No.	K-TY-1831						

特記事項

使用計測器(管理番号)

鋼尺(5219K088)

判定基準

- 1) 反射源からの反射波の高さがDAC20%以下であること。
- 2) 反射源からの反射波の高さがDAC20%を超える場合には、その反射源が有意な欠陥でないこと。ここで、有意な欠陥とは、供用期間中における欠陥の発生および進展によって生じた変化が認められる場合の欠陥を言い、NISA文書「き裂解釈」で言うき裂等と同義とする。

判 定

合格

試験評価員 XXXXXXXXXX NDI資格 UT-3

承 認 XXXXXXXXXX

中国電力㈱ XXXXXXXXXX

2010年 10月 21日

2010年 10月 25日

2010年 10月 26日

溶接部超音波探傷試験成績表

SHEET No. UT-03(1/26)

発電所名	中国電力株式会社 島根原子力発電所第1号機		探傷方法	垂直	試験年月日	2010年9月29日	キャリアレコーション 記録 No.	UT-03(2/26)	探傷結果	記録すべきエコーなし	試験員(NDI資格)	UT-03 (7/26), (8/26) 参照
系統名	主蒸気系		継手番号	W21-N	斜角 45° (軸) ※1	2010年9月29日 10月12日	UT-03 (3/26), (4/26)	記録すべきエコーあり				
公称径板厚	上流側 : φ406.4×21.4t 下流側 :		斜角 45° (周)	2010年9月29日	UT-03(5/26)	記録すべきエコーなし						
溶接タイプ (品名)	A(上流側)	B(下流側)	斜角 60° (軸) ※2	2010年10月12日	UT-03(6/26)	記録すべきエコーあり						
	ペネトレーション	パイプ(短管)										
材質	SA105 Gr. II	STPT49	溶接部超音波探傷 試験記録 No.	UT-03 (9/26)~(15/26)	走査・探傷不可能範囲：有 UT-03(25/26), (26/26)参照 ※1 A側からの軸方向探傷については、走査・探傷不可能範囲を低減するため、小型探触子による探傷を実施した。 ※2 裏波部近傍の確認の為、斜角60°軸探傷(0.5スキップのみ)を追加実施した。							
試験時期	第29回定検前調査時		エコー分布図 No.	UT-03 (16/26)~(24/26)								
要領書No.	K-TY-1831											

使用計測器(管理番号)

鋼尺(5219K067)

特記事項

判定基準

- 1) 反射源からの反射波の高さがDAC20%以下であること。
- 2) 反射源からの反射波の高さがDAC20%を超える場合には、その反射源が有意な欠陥でないこと。ここで、有意な欠陥とは、供用期間中における欠陥の発生および進展によって生じた変化が認められる場合の欠陥を言い、NISA文書「き裂解釈」で言うき裂等と同義とする。

判定 合格

試験評価員 XXXXXXXXXX NDI資格 UT-3

承認 XXXXXXXXXX

中国電力株 XXXXXXXXXX

2010年 10月 20日

2010年 10月 25日

2010年 10月 26日

溶接部超音波探傷試験成績表

SHEET No. UT-04(1/28)

発電所名	中国電力株式会社 島根原子力発電所第1号機	探傷方法	試験年月日	キャリブレーション 記録 No.	探傷結果	試験員(NDI資格)
系統名	主蒸気系	垂 直	2010年10月4日	UT-04(2/28)	記録すべきエコーなし	UT-04 (6/28), (7/28) 参照
継手番号	W38-N	斜角 45° (軸)	2010年10月5,6日	UT-04(3/28)	記録すべきエコーあり	
公称径板厚	上流側: φ406.4×21.4t 下流側:	斜角 45° (周)	2010年10月5,6日	UT-04(4/28)	記録すべきエコーなし	
溶接タイプ (品名)	A(上流側) B(下流側) パイプ パイプ(短管)	斜角 60° (軸) ※	2010年10月7日	UT-04(5/28)	記録すべきエコーあり	
材 質	STPT49 STPT49	溶接部超音波探傷 試験記録 No.	UT-04 (8/28)~(15/28)	走査・探傷不可能範囲: 有 UT-04(27/28)(28/28)参照 ※裏波部近傍の確認の為、斜角60°軸探傷(0.5スキップのみ)を追加実施した。		
試験時期	第29回定検前調査時	エコー分布図 No.	UT-04 (16/28)~(26/28)			
要領書No.	K-TY-1831					

使用計測器(管理番号) 鋼尺(5219K088)

特記事項

判定基準

- 1) 反射源からの反射波の高さがDAC20%以下であること。
- 2) 反射源からの反射波の高さがDAC20%を超える場合には、その反射源が有意な欠陥でないこと。ここで、有意な欠陥とは、供用期間中における欠陥の発生および進展によって生じた変化が認められる場合の欠陥を言い、NISA文書「き裂解釈」で言うき裂等と同義とする。

判 定 合 格

試験評価員 XXXXXXXXXX NDI資格 UT-3

承 認 XXXXXXXXXX

中国電力株 XXXXXXXXXX

2010年 10月 21日

2010年 10月 25日

2010年 10月 26日

溶接部超音波探傷試験成績表

SHEET No. UT-05 (1/26)

発電所名	中国電力株式会社 島根原子力発電所第1号機		探傷方法	試験年月日	キャリブレーション 記録 No.	探傷結果	試験員 (NDI資格)
系統名	主蒸気系		垂直	2010年10月14日	UT-05 (2/26)	記録すべきエコーなし	UT-05 (6/26), (7/26) 参照
継手番号	W39-N		斜角 45° (軸)	2010年10月14,15日	UT-05 (3/26)	記録すべきエコーあり	
公称径板厚	上流側: φ406.4×21.4t 下流側:		斜角 45° (周)	2010年10月15日	UT-05 (4/26)	記録すべきエコーなし	
溶接タイプ (品名)	A (上流側) パイプ(短管)	B (下流側) ペネトレーション	斜角 60° (軸) ※	2010年10月15日	UT-05 (5/26)	記録すべきエコーあり	
材質	STPT49	STPT49	溶接部超音波探傷 試験記録 No.	UT-05 (8/26)~(15/26)	走査・探傷不可能範囲: 有 UT-11 (25/26), (26/26) 参照 ※ 裏波部近傍の確認の為、斜角60°軸探傷(0.5スキップのみ)を 追加実施した。		
試験時期	第29回定検前調査時		エコー分布図 No.	UT-05 (16/26)~(24/26)			
要領書No.	K-TY-1831						

使用計測器(管理番号)

鋼尺(5219K106)

特記事項

判定基準

- 1) 反射源からの反射波の高さがDAC20%以下であること。
- 2) 反射源からの反射波の高さがDAC20%を超える場合には、その反射源が有意な欠陥でないこと。ここで、有意な欠陥とは、供用期間中における欠陥の発生および進展によって生じた変化が認められる場合の欠陥を言い、NISA文書「き裂解釈」で言うき裂等と同義とする。

判定

合格

試験評価員 XXXXXXXXXX NDI資格 UT-3

承認 XXXXXXXXXX

中国電力株 XXXXXXXXXX

2010年10月21日

2010年10月25日

2010年10月26日

溶接部超音波探傷試験成績表

SHEET No. UT-06 (1/26)

発電所名	中国電力株式会社 島根原子力発電所第1号機		探傷方法	試験年月日	キャリアレシジョン 記録 No.	探傷結果	試験員 (NDI資格)
系統名	主蒸気系		垂 直	2010年10月4,5日	UT-06 (2/26)	記録すべきエコーなし	UT-06 (7/26), (8/26) 参照
継手番号	W40-N		斜角 45° (軸) ※1	2010年10月4,8日	UT-06 (3/26), (4/26)	記録すべきエコーあり	
公称径板厚	上流側 : φ406.4×21.4t 下流側 :		斜角 45° (周)	2010年10月4日	UT-06 (5/26)	記録すべきエコーなし	
溶接タイプ (品名)	A (上流側) ペネトレーション	B (下流側) パイプ (短管)	斜角 60° (軸) ※2	2010年10月6,8日	UT-06 (6/26)	記録すべきエコーあり	
材 質	SA105 Gr. II	STPT49	溶接部超音波探傷 試験記録 No.	UT-06 (9/26) ~ (14/26)	走査・探傷不可能範囲 : 有 UT-06 (25/26), (26/26) 参照		
試験時期	第29回定検前調査時		エコー分布図 No.	UT-06 (15/26) ~ (24/26)	※1 A側からの軸方向探傷については、走査・探傷不可能範囲を低減するため、小型探触子による探傷を実施した。 ※2 裏波部近傍の確認の為、斜角60°軸探傷(0.5スキップのみ)を追加実施した。		
要領書No.	K-TY-1831						

使用計測器 (管理番号) 鋼尺 (5219K067)

特記事項

- 判定基準
- 1) 反射源からの反射波の高さがDAC20%以下であること。
 - 2) 反射源からの反射波の高さがDAC20%を超える場合には、その反射源が有意な欠陥でないこと。ここで、有意な欠陥とは、供用期間中における欠陥の発生および進展によって生じた変化が認められる場合の欠陥を言い、NISA文書「き裂解釈」で言うき裂等と同義とする。

判 定 合格

試験評価員	NDI資格 UT-3	2010年10月20日
承認		2010年10月25日
中国電力側		2010年10月26日

溶接部超音波探傷試験成績表

SHEET No.UT-07(1/27)

発電所名	中国電力株式会社 島根原子力発電所第1号機	探傷方法	試験年月日	キャリアレジョン 記録 No.	探傷結果	試験員(NDI資格)
系統名	主蒸気系	垂 直	2010年10月8日	UT-07(2/27)	記録すべきエコーなし	UT-07 (6/27), (7/27) 参照
継手番号	W57-N	斜角 45° (軸)	2010年10月 ^{8,9} _{11,12} 日	UT-07(3/27)	記録すべきエコーあり	
公称径板厚	上流側: φ406.4×21.4t 下流側:	斜角 45° (周)	2010年10月8日	UT-07(4/27)	記録すべきエコーなし	
溶接タイプ (品名)	A(上流側)	B(下流側)	斜角 60° (軸) *	2010年10月 ^{2,13} 日	UT-07(5/27)	
	パイプ	パイプ(短管)				
材 質	STPT49	STPT49	溶接部超音波探傷 試験記録 No.	UT-07 (8/27)~(14/27)	走査・探傷不可能範囲: 有 UT-07(26/27), (27/27) 参照 ※裏波部近傍の確認の為、斜角60°軸探傷(0.5スキップのみ)を追加実施した。	
試験時期	第29回定検前調査時		エコー分布図 No.	UT-07 (15/27)~(25/27)		
要領書No.	K-TY-1831					

特記事項

使用計測器(管理番号)

鋼尺(5219K106)

判定基準

- 1) 反射源からの反射波の高さがDAC20%以下であること。
- 2) 反射源からの反射波の高さがDAC20%を超える場合には、その反射源が有意な欠陥でないこと。ここで、有意な欠陥とは、供用期間中における欠陥の発生および進展によって生じた変化が認められる場合の欠陥を言い、NISA文書「き裂解釈」で言うき裂等と同義とする。

判 定

合格

試験評価員 XXXXXXXXXX NDI資格 UT-3

承 認 XXXXXXXXXX

中国電力㈱ XXXXXXXXXX

2010年10月21日

2010年10月25日

2010年10月26日

溶接部超音波探傷試験成績表

SHEET No. UT-08(1/16)

発電所名	中国電力株式会社 島根原子力発電所第1号機		探傷方法	試験年月日	キャリアレシジョン 記録 No.	探傷結果	試験員(NDI資格)
系統名	主蒸気系		垂 直	2010年10月 8日	UT-08(2/16)	記録すべきエコーなし	UT-08(5/16)参照
継手番号	W58-N		斜角 45° (軸)	2010年10月8,9,11日	UT-08(3/16)	記録すべきエコーあり	
公称径板厚	上流側： 下流側：φ406.4×21.4t		斜角 45° (周)	2010年10月8,9日	UT-08(4/16)	記録すべきエコーなし	
溶接タイプ (品名)	A(上流側)	B(下流側)					
	パイプ(短管)	ハネレシジョン					
材 質	STPT49	STPT49	溶接部超音波探傷 試験記録 No.	UT-08 (6/16)~(9/16)	走査・探傷不可能範囲：無		
試験時期	第29回定検前調査時		エコー分布図 No.	UT-08 (10/16)~(16/16)			
要領書No.	K-TY-1831						

使用計測器(管理番号) 鋼尺(5219K088)

特記事項

判定基準

- 1) 反射源からの反射波の高さがDAC20%以下であること。
- 2) 反射源からの反射波の高さがDAC20%を超える場合には、その反射源が有意な欠陥でないこと。ここで、有意な欠陥とは、供用期間中における欠陥の発生および進展によって生じた変化が認められる場合の欠陥を言い、NISA文書「き裂解釈」で言うき裂等と同義とする。

判 定 合 格

試験評価員 XXXXXXXXXX NDI資格 UT-3

承 認 XXXXXXXXXX

中国電力(株) XXXXXXXXXX

2010年 10月 20日

2010年 10月 25日

2010年 10月 26日

溶接部超音波探傷試験成績表

SHEET No. UT-09 (1/24)

発電所名	中国電力株式会社 島根原子力発電所第1号機	探傷方法	試験年月日	キャリアレシジョン 記録 No.	探傷結果	試験員 (NDI資格)
系統名	主蒸気系	垂 直	2010年10月 9日	UT-09 (2/24)	記録すべきエコーなし	UT-09 (7/24), (8/24) 参照
継手番号	W59-N	斜角 45° (軸) ※1	2010年10月 9日	UT-09 (3/24), (4/24)	記録すべきエコーあり	
公称径板厚	上流側: φ406.4×21.4t 下流側:	斜角 45° (周)	2010年10月 9日	UT-09 (5/24)	記録すべきエコーなし	
溶接タイプ (品名)	A (上流側) B (下流側) ペネトレーション パイプ(短管)	斜角 60° (軸) ※2	2010年10月 12, 13日	UT-09 (6/24)	記録すべきエコーあり	
材 質	SA105 Gr. II STPT49	溶接部超音波探傷 試験記録 No.	UT-09 (9/24) ~ (14/24)	走査・探傷不可能範囲: 有 UT-09 (23/24), (24/24) 参照 ※1 A側からの軸方向探傷については、走査・探傷不可能範囲を低減するため、小型探触子による探傷を実施した。 ※2 裏波部近傍の確認の為、斜角60°軸探傷(0.5スキップのみ)を追加実施した。		
試験時期	第29回定検前調査時	エコー分布図 No.	UT-09 (15/24) ~ (22/24)			
要領書No.	K-TY-1831					

特記事項

判定基準

- 1) 反射源からの反射波の高さがDAC20%以下であること。
- 2) 反射源からの反射波の高さがDAC20%を超える場合には、その反射源が有意な欠陥でないこと。ここで、有意な欠陥とは、供用期間中における欠陥の発生および進展によって生じた変化が認められる場合の欠陥を言い、NISA文書「き裂解釈」で言うき裂等と同義とする。

使用計測器(管理番号) 鋼尺 (5219K067)

判 定

合格

試験評価員	[Redacted]	NDI資格 UT-3	2010年 10月 20日
承 認	[Redacted]		2010年 10月 25日
中国電力(株)	[Redacted]		2010年 10月 26日

溶接部超音波探傷試験成績表

SHEET No. UT-10(1/26)

発電所名	中国電力株式会社 島根原子力発電所第1号機		探傷方法	試験年月日	キャリブレーション 記録 No.	探傷結果	試験員 (NDI資格)
系統名	主蒸気系		垂 直	2010年10月13日	UT-10(2/26)	記録すべきエコーなし	UT-10 (6/26), (7/26) 参照
継手番号	W78-N		斜角 45° (軸)	2010年10月13,14日	UT-10(3/26)	記録すべきエコーあり	
公称径板厚	上流側: φ406.4×21.4t 下流側:		斜角 45° (周)	2010年10月13,14日	UT-10(4/26)	記録すべきエコーなし	
溶接タイプ (品名)	A(上流側)	B(下流側)	斜角 60° (軸) ※	2010年10月16日	UT-10(5/26)	記録すべきエコーあり	
	パイプ	パイプ(短管)					
材 質	STPT49	STPT49	溶接部超音波探傷 試験記録 No.	UT-10 (8/26)~(15/26)	走査・探傷不可能範囲: 有 UT-10(25/26), (26/26)参照 ※裏波近傍の確認の為、斜角60°軸探傷(0.5スキップのみ)を 追加探傷した。		
試験時期	第29回定検前調査時		エコー分布図 No.	UT-10 (16/26)~(24/26)			
要領書No.	K-TY-1831						

特記事項	使用計測器(管理番号)	鋼尺(5219K088)
------	-------------	--------------

判定基準

- 1) 反射源からの反射波の高さがDAC20%以下であること。
- 2) 反射源からの反射波の高さがDAC20%を超える場合には、その反射源が有意な欠陥でないこと。ここで、有意な欠陥とは、供用期間中における欠陥の発生および進展によって生じた変化が認められる場合の欠陥を言い、NISA文書「き裂解釈」で言うき裂等と同義とする。

判 定 合 格

試験評価員 XXXXXXXXXX NDI資格 UT-3
 承 認 XXXXXXXXXX
 中国電力(株) XXXXXXXXXX

2010年 10月 22日
 2010年 10月 25日
 2010年 10月 26日

溶接部超音波探傷試験成績表

SHEET No. UT-11 (1/29)

発電所名	中国電力株式会社 島根原子力発電所第1号機	探傷方法	試験年月日	キャリアレシジョン 記録 No.	探傷結果	試験員 (NDI資格)
系統名	主蒸気系	垂 直	2010年10月4日	UT-11 (2/29)	記録すべきエコーなし	UT-11 (6/29), (7/29) 参照
継手番号	W79-N	斜角 45° (軸)	2010年10月5~7日	UT-11 (3/29)	記録すべきエコーあり	
公称径板厚	上流側: φ406.4×21.4t 下流側:	斜角 45° (周)	2010年10月4日	UT-11 (4/29)	記録すべきエコーなし	
溶接タイプ (品名)	A (上流側) パイプ(短管)	B (下流側) ペネトレーション	斜角 60° (軸) ※1	2010年10月6,7日	UT-11 (5/29)	
材 質	STPT49	STPT49	溶接部超音波探傷 試験記録 No.	UT-11 (8/29)~(16/29)	走査・探傷不可能範囲: 有 UT-11 (28/29), (29/29)参照 ※1 裏波部近傍の確認の為、斜角60°軸探傷(0.5スキップのみ)を追加実施した。	
試験時期	第29回定検前調査時		エコー分布図 No.	UT-11 (17/29)~(27/29)		
要領書No.	K-TY-1831					

特記事項

使用計測器(管理番号)

鋼尺(5219K106)

判定基準

- 1) 反射源からの反射波の高さがDAC20%以下であること。
- 2) 反射源からの反射波の高さがDAC20%を超える場合には、その反射源が有意な欠陥でないこと。ここで、有意な欠陥とは、供用期間中における欠陥の発生および進展によって生じた変化が認められる場合の欠陥を言い、NISA文書「き裂解釈」で言うき裂等と同義とする。

判 定 合格

試験評価員 XXXXXXXXXX NDI資格 UT-3

承 認 XXXXXXXXXX

中国電力 XXXXXXXXXX

2010年 10月 21日

2010年 10月 25日

2010年 10月 26日

溶接部超音波探傷試験成績表

SHEET No. UT-12(1/26)

発電所名	中国電力株式会社 島根原子力発電所第1号機	探傷方法	試験年月日	キャリブレーション 記録 No.	探傷結果	試験員(NDI資格)
系統名	主蒸気系	垂 直	2010年10月14日	UT-12(2/26)	記録すべきエコーなし	UT-12 (7/26), (8/26) 参照
継手番号	W80-N	斜角 45° (軸) ※1	2010年10月 ^{14~16} _{18,19} 日	UT-12 (3/26), (4/26)	記録すべきエコーあり	
公称径板厚	上流側: φ406.4×21.4t 下流側:	斜角 45° (周)	2010年10月14日	UT-12(5/26)	記録すべきエコーなし	
溶接タイプ (品名)	A(上流側) B(下流側) ペネトレーション パイプ(短管)	斜角 60° (軸) ※2	2010年10月16日	UT-12(6/26)	記録すべきエコーあり	
材 質	SA105 Gr. II STPT49	溶接部超音波探傷 試験記録 No.	UT-12 (9/26)~(15/26)	走査・探傷不可能範囲: 有 UT-12(25/26), (26/26)参照 ※1 A側からの軸方向探傷については、走査・探傷不可能範囲を低減するため、小型探触子による探傷を実施した。 ※2 裏波部近傍の確認の為、斜角60°軸探傷(0.5スキップのみ)を追加実施した。		
試験時期	第29回定検前調査時	エコー分布図 No.	UT-12 (16/26)~(24/26)			
要領書No.	K-TY-1831					

使用計測器(管理番号) 鋼尺(5219K067)

特記事項

判定基準

- 1) 反射源からの反射波の高さがDAC20%以下であること。
- 2) 反射源からの反射波の高さがDAC20%を超える場合には、その反射源が有意な欠陥でないこと。ここで、有意な欠陥とは、供用期間中における欠陥の発生および進展によって生じた変化が認められる場合の欠陥を言い、NISA文書「き裂解釈」で言うき裂等と同義とする。

判 定 合格

試験評価員 XXXXXXXXXX NDI資格 UT- 3

承 認 XXXXXXXXXX

中国電力(株) XXXXXXXXXX

2010年 10月 22日

2010年 10月 25日

2010年 10月 26日